

岐阜県福祉サービス第三者評価事業評価結果表

①第三者評価機関名

特定非営利活動法人 岐阜後見センター

②事業者情報

名 称：社会福祉法人 蓮華会 ひきえ子ども園	種別：幼保連携型認定こども園
代表者氏名：神山 和也	定員（利用人数）：106名
所在地：岐阜市日置江5丁目27番地1 Tel 058-279-0319	

③総 評

◇特に評価の高い点

<子どもが生活しやすい環境づくりがなされている。>

「彩色彩光」を園の目標とし、どの子ども輝いて生きる生活の場としての環境づくりに努めている。4年前に、園舎を建て替え、床暖房が設置され、各部屋は採光が良く明るい部屋になっている。乳児室は静かな2階にあり、安全面に配慮されている。広いテラスは人工芝で、安全面でも配慮しており、素足で歩いても大丈夫な素材を使用し、ハイハイしたり、つたい歩きをのびのびしている姿が見られた。

<様々な遊びのコーナーが設置され、子どもたちは主体的に遊びを楽しんでいる。>

保育室の中は、様々な遊びのコーナーが設置され、子どもたちの発達や興味に配慮したおもちゃ、絵本、遊具やダンボールの家等があり、子どもたちが主体的に活発に遊ぶ姿が見受けられた。また保育教諭の発達に考慮した手作りの遊びが多くあり、子どもたちが友達との関わりを深め、協力して作り上げていく楽しさも十分味わっている。遊びの種類(粘土遊び、三輪車、どろんこ遊び、プール)がとても多い。

<独自の特色ある保育内容>

まずは、職員の配置を多くすることで、子どもが安心して生活を送ることができている。その上で、第一に、一日の生活の連続性に配慮し、のびのびタイム(活動)、ほのぼのタイム(給食を食べた午後)ゆらゆらタイム(長時間)と位置付け、長時間・延長保育時間帯は家庭的でくつろいで過ごせるような雰囲気の中で保育内容や支援に努めている。第二に、年度の前半に、1日1組の子どもの家族を招待し、子どもたちと一緒に過ごしてもらい取り組みを行なっている。我が子の園での様子や他の子どもたちの様子も観察でき、客観的に我が子を見つめ直す

こともでき、子育てに役立つ。第三に、異文化交流として毎月、アメリカ人講師が来園し、子ども達と一緒に生活をしながら、その中で、英語の楽しさを教えている。また外部講師によるリトミックを行い、楽器に触れたりしながら豊かな表現力を培っている。

<食事が楽しむことができる工夫をしている。>

食事のスペースと保育のスペースを別にし、昼食は2階のレストランに行き、遠く伊吹山を眺めながら、異年齢で食事を摂っている。レストランでは、食事のマナーを覚えたり、おやつ作りのクッキング体験をしている。また、調理室はガラス張りなので、子どもたちがのぞいたり、調理員と言葉を交わしたりする等、触れ合うことができる。

<障がい児に精通した職員を配置している。>

障がい児教育を経験している職員や特別支援学校の免許を持つ職員を雇用し、保育に臨んでいる。障がいのない子の中での育ちを重視し、友だちとのかかわりに配慮し、共に育っていけるような保育を行なっている。

<地域の高齢者等との交流が盛んである。>

地域の高齢者との交流が盛んで、老人会の協力を得て、田植え、稲刈り、野菜作りを行い、保護者と一緒に収穫祭を実施している。また収穫したお米で餅をつき、花餅にしてお礼として高齢者にプレゼントする等して交流を大切にしている。また近隣の農家の方と共にスイカ、イチゴ作りを行ったり、夏野菜の栽培、収穫を体験している。園の北側の広場はゲートボール場に利用したり、園の運動会を行う等の交流の場となっている。地域の祭りの灯籠祭りには幼児組が灯籠を作って参加している。

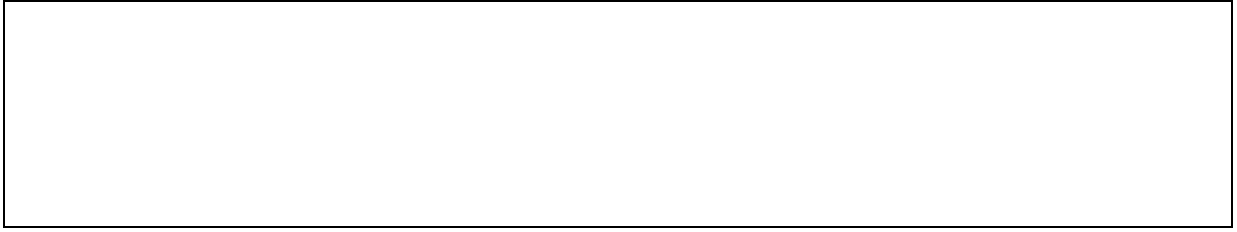
◇改善を求められる点

<就学にあたって、小学校教員との話し合いの機会を持たれるよう期待したい。>

就学に対して、不安を抱えている保護者もいるので、保護者参加を行い、小学校から先生に来ていただき、話しを聞く機会を持たれると良い。こども園から小学校へとなめらかな連続性が図れるような取り組みに期待したい。

④第三者評価結果に対する事業者のコメント

今回の福祉サービス第三者評価の受審を通して、保育のあり方や園経営について見直すよい機会となりました。評価では、良い点や改善すべき点などにつきましてご指摘をいただきました。今後、改善すべきと指摘された点については、継続的に改善に向けた取り組みを行うとともに、評価の良かった点についても更なる改善に努めることで、今後、多様化する子育てニーズに対応した保育サービスの提供に努めていきたいと考えています。



⑤評価細目の第三者評価結果（別添）